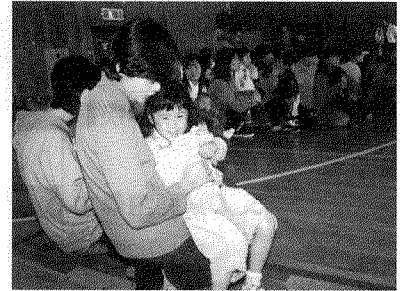


～子どもとの関係を見直すために～

グループ討議 40分

## 【学習のねらい】

- ・日常、何気なく子どもに言っている言葉の中に、子どもの心を傷つけていることに気づく。
- ・子どもの自主性や社会性を育み、気持の良い人間関係をつくる言葉を考え、日常の生活や子育ての支援に生かしていく。



## 【準備するもの】

- ・「ワークシート」（一人1枚）
- ・座標を記した「模造紙」（黒板に1枚）
- ・全体に見えるような、やや大きめの色つきの「付箋紙」（グループに20枚くらいずつ）

## 【進め方】

- (1) グループをつくる。（本書P11～P27参照）
- (2) ワークシートを配布し、「こんな時、こんな子に」に対して、ついカッとなって言ってしまう「子どもを傷つける言い方」を考え記入する。
- (3) 「子どもを傷つける言い方」をグループで出し合い、次の点について話し合う。
  - ・「子どもを傷つける言い方」には、どんな特徴がありますか。
  - ・「子どもを傷つける言い方」は、大人のどんな気持から発せられるのでしょうか。
- (4) 「子どもを育てる言い方」を考え記入する。
 

（子どもが自分の行為を振り返り、納得できる、前向きで、やる気が出る言い方に）
- (5) 「子どもを育てる言い方」をグループで出し合い、次の点について話し合う。
  - ・「子どもを育てる言い方」には、どんな特徴がありますか。
  - ・どんな気持で、何を大事にすることが、子どもを育てることになるのでしょうか。
- (6) 「子どもを育てる言い方」を簡単な言葉にして、カード（付箋紙）に記入し、全体学習用の模造紙の座標上にはって、全体で見ながら気づいたことを話し合う。
- (7) 感じたこと、発見したことなどを「ふりかえりシート」に記入する。

## 【留意点】

- (1) (4) の「子どもを育てる言い方」についてのグループでの話し合いは、(6) の全体作業の中でもできるので、省略してもよい。
- (2) 付箋紙を貼付する座標上の位置は、縦軸（社会性）と横軸（個人性＝自主性・自己決定）のどちらに重点がかけられているかを示す。例を取り上げ丁寧に説明したい。

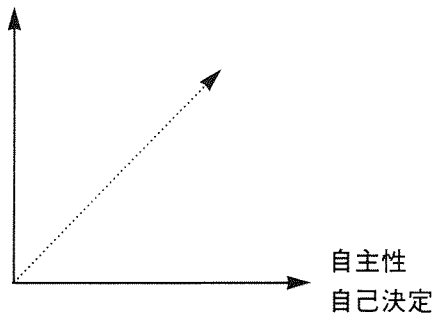
※参考図書：「わたし、あなた、そしてみんな」ERIC国際理解教育センター

	こんな時、こんな子に	子どもを傷つける言い方	子どもを育てる言い方
ア	買い物に行って、欲しい物を買ってもらえず、泣き出した子に		
イ	ゲームに夢中で、なかなか勉強をしようとならない子に		
ウ	夕食の時、おしゃべりをしていて、なかなか箸が進まない子に		
エ	注意したことに対して、泣き出し、なかなか泣き止まない子に		

ふりかえりシート

《座標・模造紙》

社会性・共感・協力性



※子どもの豊かな人間性は、社会性と個人性の両面のプラス方向への言葉がけが大切であることに、気づいていくためのワーク。